

「平成26年度電波の利用状況調査」の調査・評価結果（北陸局版）の概要

1. 平成26年度調査の調査対象周波数帯(714MHz以下)

北陸の電波の利用状況

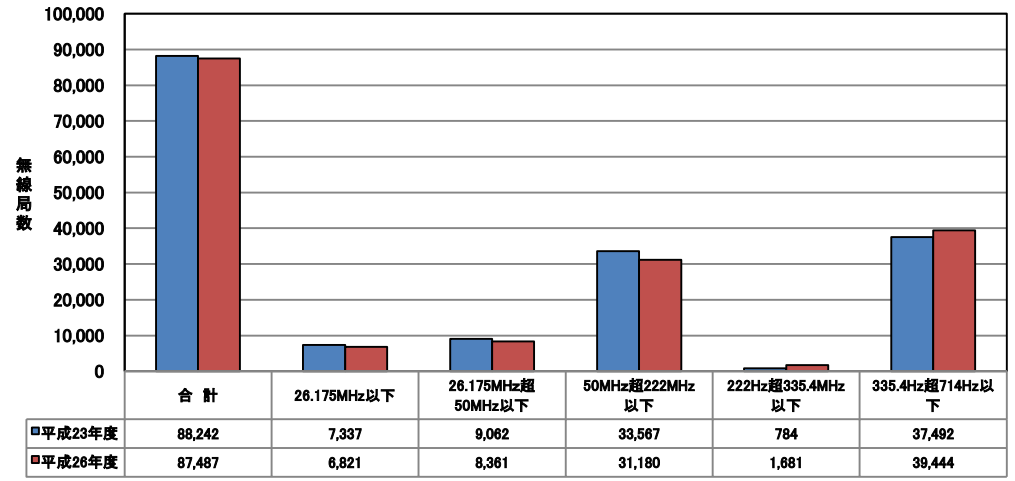
714MHz以下の周波数全体の平成26年度における無線局数は、全国では平成23年度の3,248,739局から3,327,880局に微増(2.4%)、北陸局管内では平成23年度の88,242局から87,487局に微減(-0.9%)している。

本周波数帯では、船舶や航空機無線、消防・防災行政無線等の重要無線のほか、自営系無線等に緻密に利用されており、今後更に周波数の有効利用を図るため、狭帯域化やデジタル化が望まれている。

714MHz以下の周波数を使用する無線局の主な用途

- ① 26.175MHz以下：船舶通信システム、中波・短波放送、アマチュア無線
- ② 26.175MHz超50MHz以下：船舶通信システム、アマチュア無線
- ③ 50MHz超222MHz以下：防災行政無線、消防用無線、FM・マルチメディア放送、アマチュア無線
- ④ 222MHz超335.4MHz以下：防災行政無線、消防用無線
- ⑤ 335.4MHz超770MHz以下：防災行政無線、列車無線、地上デジタルテレビジョン放送、タクシー無線、簡易無線

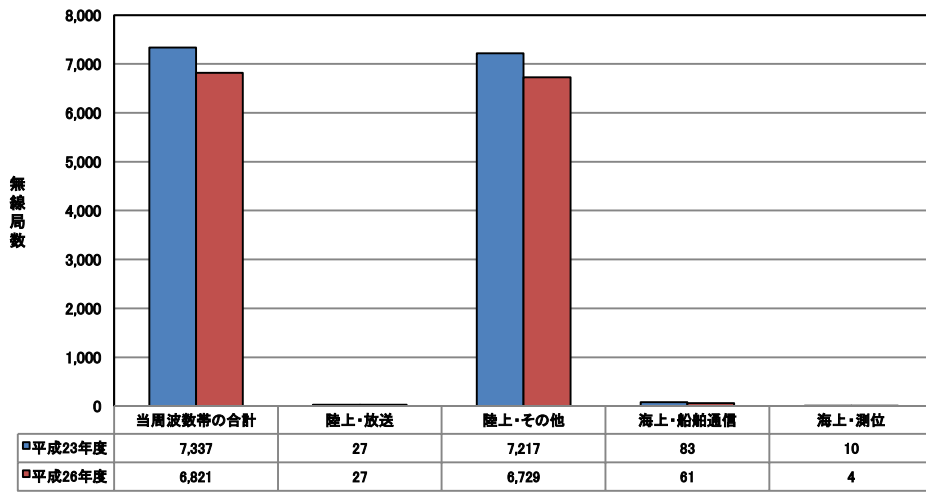
周波数区分全体の利用状況



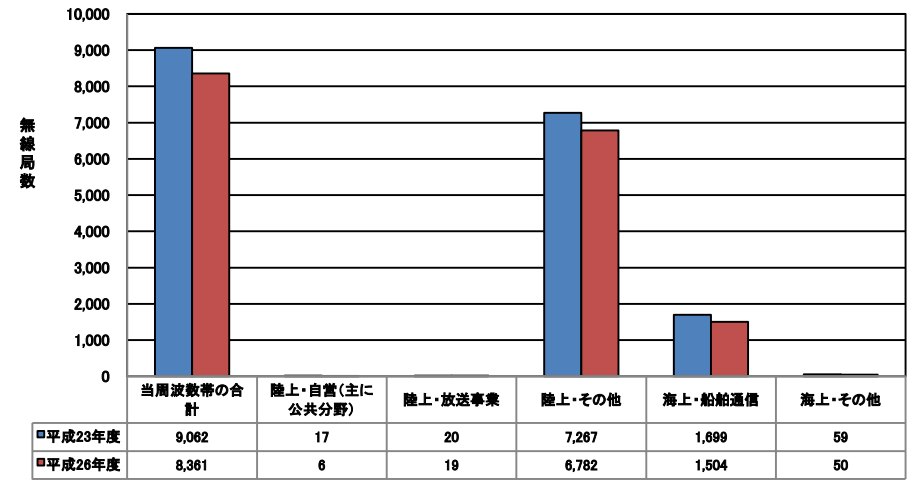
[参考]
総務省報道資料
平成26年度電波の利用状況調査の評価結果及び意見募集の結果

2. 周波数区分ごとの調査・評価結果

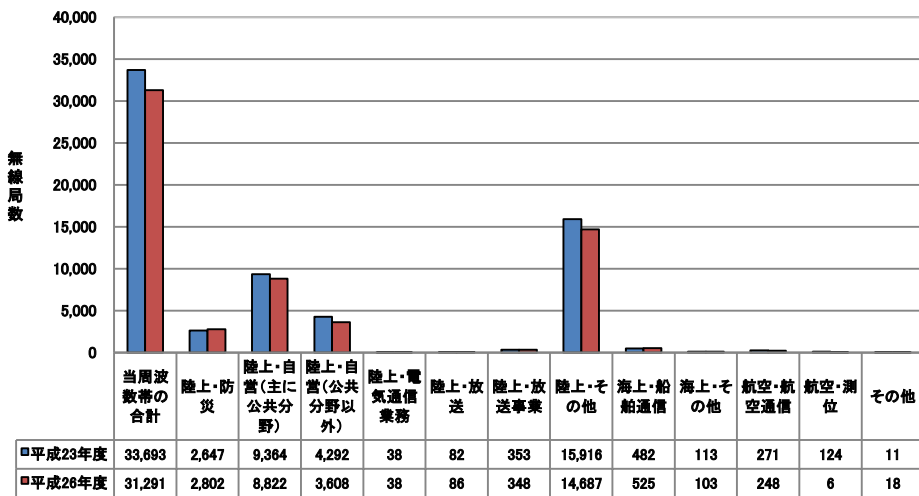
26.175MHz以下



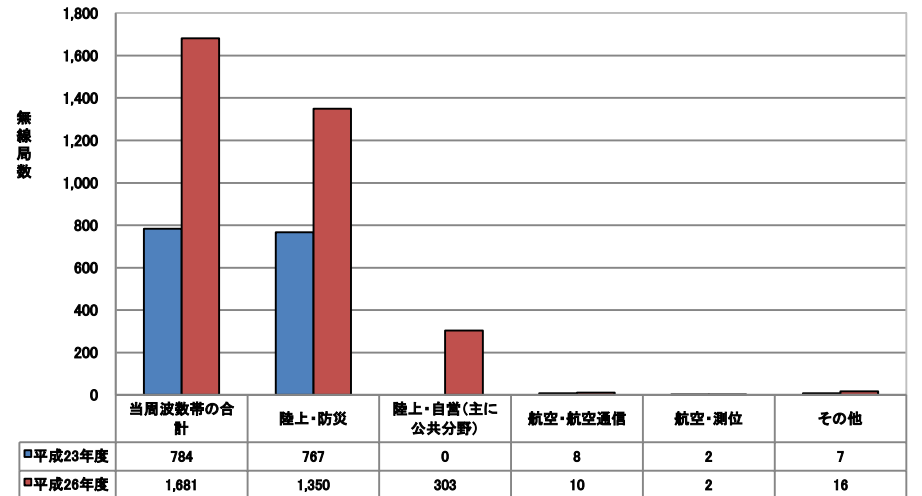
26.175MHz超 50MHz以下



50MHz超222MHz以下



222MHz超335.4MHz以下



335.4MHz超770MHz以下

